

## 平成26年度 第11回臨時国際資源学部執行部会議議事要旨

日 時：平成26年8月5日（火）9：00～11：00

場 所：インフォメーションセンター多目的ホール

出席者：佐藤学部長（議長）、宮本、安達、今井、柴山、藤井各委員

欠席者：なし

### 議 事

#### 1. 臨時教育研究評議会報告について

学部長から資料1により臨時教育研究評議会の内容について説明があり、平成28年度に大学院国際資源学研究科を設置することが決まった旨報告があった。これに伴い、新任教員や大学院を担当していない教員について、大学院担当の審査を既存の工学資源学研究科において早急に行わなければならないため、該当する教員には審査用フォーマットを送付するので作成の上提出されたい旨依頼があった。

#### 2. 教員人事（辞職）について

宮本委員から資料2により説明があり、承認された。なお、後任人事については、早急に進めることとなった。

#### 3. 国際資源学部等施設展開プロジェクトチームへの委員の推薦について

学部長から資料3により説明があり、柴山委員を推薦することとなった。なお、出席できない時は、藤井委員が代理で出席することが了承された。

#### 4. 研究生入学願について

学部長から資料4により資源の絆プログラムによる研究生を受け入れることについて説明があり、了承された。

#### 5. 北都銀行インターンシップについて

学部長から資料5により説明があり、宮本委員がアンケートに答えることとなった。

また、今井委員からこのインターンシップを外国人留学生の海外資源フィールドワークに読み替えることができないかとの提案があり、審議の結果、外国人留学生本人の希望に基づき各コースの判断に委ねることとなった。

#### 6. 海外資源フィールドワーク窓口教員について

学部長から資料6により海外資源フィールドワークの窓口教員について説明があり、一部修正することで承認された。

#### 7. 平成26年度国際資源学部戦略推進経費「海外資源フィールドワーク」実地調査について

学部長から資料7-1から7-3により説明があり、計画どおり配分することが了承された。

なお、同じ箇所に行かれる場合は教員同士で調整しその結果を事務所に連絡されたい旨依頼があった。

#### 8. 国際資源学部講義棟新営について

大川事務長から資料8により報告があった。なお、1階が資源政策コース、2階が資源地球科学コース及び資源開発環境コースで使用することとし、使用目的は各コースの判断に委ねることとなった。

#### 9. 「秋田大学における教育系職員任期に関する規程」の一部改正について

事務部から資料9により説明があり、了承された。

#### 10. その他

1) 教員評価について質問があり、国際資源学部においても教員評価を実施することで準備している旨学部長から報告があった。

2) 高知大学海洋コアセンターとの協定について、協定書案をメールで各委員に配付し、意見等がある場合は今週末までに事務へ連絡することとなった。意見がない場合は本会議で了承されたものとする事が確認された。